

事業評価シート

番号 0660020 - 001

【1.基本情報】

事業名	岐阜城運営管理			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和31 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	
			岐阜城条例	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜城は、岐阜市を代表する観光施設の1つである。住民の福祉を図り、郷土の史跡の保存および周辺の観光施設への誘客のため、施設の運営管理を行う。		
事業の内容	岐阜城の運営、施設内外の保全、施設及び設備の保守管理。		
事業の対象	何を	岐阜城及び岐阜城資料館	
	誰に (対象者・対象者数)	観光客、市民	
	どのくらい (具体的 数値で)	230,000人	
令和2年度 (実施内容)	岐阜城を年中無休で開館。 (4/7～5/21は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館。)		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,043	96	3,043	96	3,120	96
パートタイム(嘱託職員)	3,224	313	3,266	314	3,214	312
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,267	409	6,309	410	6,334	408

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		47,577	59,820	65,694
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
委託料	40,389	41,647	44,085	
工事請負費	0	7,642	0	
備品購入費	1,060	162	869	
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
	1,979	1,979	1,979	
計(D)=B+C	49,556	61,799	67,673	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	55,823	68,108	74,007

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	43,465	46,496	28,798
その他	2,167	2,207	1,984
計(F)	45,632	48,703	30,782

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	10,191	19,405	43,225

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	入場者	入場者	入場者
受益者数	234,933	251,485	157,560
受益者負担額(千円)	43,362	46,490	28,791
受益者負担率(%)	77.7%	68.3%	38.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	43	77	274

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	365	366	365
実績値	365	360	320

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数	単位	千人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	230,000	260,000	330,000
実績値	234,933	251,485	157,560
達成状況	○(達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜市を代表する観光施設の一つであり、ここ数年毎年20万人以上の入場者があるためニーズに合っている。(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、約15万8千人の入場者) 市が国有林野の貸付を受けており、城郭・資料館・沿路を含めた山頂部の包括的な管理が必要となる。林野庁や文化庁など他官庁との調整も多いため、市が直営で管理する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	施設単体での費用対効果は高くないが、周辺にある観光施設への間接的な経済効果が高い施設である。 市が主体的に運営管理しているが、日常の維持管理業務については民間を活用しており、経費を削減している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	大河ドラマによる効果を期待したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、期待した効果は得られなかった。ただし、新型コロナウイルス感染症終息後は、岐阜市随一の観光施設や、郷土のシンボルとしての新型コロナウイルス感染症感染拡大以前と同程度の入場者数が継続的に見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	現在は、施設の老朽化等の要因もあり受益者負担は適正と考えられるが、施設の改修等を実施した際には、受益者負担の増額を検討する必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	運営等に関しては問題ないが、老朽化に伴い、施設の耐震化と周辺設備の改修が必要。

事業評価シート

番号 0660020 - 002

【1.基本情報】

事業名	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)運営管理			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	T・H・Bファシリティズ
実施期間	平成19 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	岐阜市文化産業交流センター条例

【2.事業概要】

事業の目的	地域交流、文化活動および産業活動の拠点として、地域交流の促進、文化の向上および産業の振興を図るため、施設を供与する。		
事業の内容	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、イベント・コンベンションの誘致、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理、自主事業の実施。		
事業の対象	何を	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)の施設等	
	誰に (対象者・対象者数)	施設利用者	
	どのくらい (具体的 数値で)	100,000人	
令和2年度 (実施内容)	指定管理者による管理・運営を実施。岐阜観光コンベンション協会やコンベンション企業などと連携し、イベント・コンベンションを誘致するとともに、JR岐阜駅前の賑わいを創出するために自主事業を4事業実施した。		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,522	48	1,522	48	1,950	60
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	1,522	48	1,522	48	1,950	60

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		55,463	81,727	134,303
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
委託料	25,000	26,158	82,290	
工事請負費	29,378	52,228	13,618	
備品購入費	1,085	2,956	30,066	
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
	7,429	7,429	7,429	
計(D)=B+C	62,892	89,156	141,732	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		64,414	90,678

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	3,683	3,711	4,259
その他	13,561	13,363	10,318
計(F)	17,244	17,074	14,577

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		47,170	73,604

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	158,738	160,988	46,983
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	297	457	2,748

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	359	360	359
実績値	359	360	304

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数	単位	千人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	100	100	190
実績値	158	160	46
達成状況	○(達成)	○(達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜駅前に位置しており、地域交流の促進、文化の向上および産業の振興を図ることができる中心的な施設として不可欠である。
		利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	高い収益性のある施設である。
		利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費を削減している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	成果指標である利用者数について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により目標を下回ったものの、過去2か年においては目標値を大幅に上回っており、今後も効果が見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から		施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	岐阜市のコンベンション及び文化産業の推進に役立つとともに、利用料金収入、利用者数も好調であり、引き続き現状の運営管理をしていくことが妥当であると考えられる。

事業評価シート

番号 0660020 - 003

【1.基本情報】

事業名	岐阜観光コンベンション協会運営負担金(観光振興)			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体
実施期間	平成17 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市及び周辺の産業、技術及び文化、歴史などの資源を活用し、コンベンションの誘致、開催支援、及び国際会議観光都市岐阜の広報、宣伝等の事業を行うことにより、岐阜市におけるコンベンション並びに観光の振興を図り、もって国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に資すること			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光及びコンベンションに係る環境基盤の整備 ・観光振興のための広報、宣伝、誘致及び受入 ・岐阜市の運営する観覧船事業の支援 			
事業の対象	何を	本市の観光情報		
	誰に (対象者・対象者数)	旅行会社等観光関係事業者および観光客		
	どのくらい (具体的 数値で)	各種商談会参加、宿泊キャンペーン開催、観光展开展		
令和2年度 (実施内容)	観光振興事業(国内外観光客の誘致、観光パンフレットの作成、各種キャンペーンの実施など)			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	33	1
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	33	1

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		35,938	36,351	37,144
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
負担金	35,938	36,351	37,144	
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
計(D)=B+C	35,938	36,351	37,144	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	35,970	36,385	37,177

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	35,970	36,385	37,177

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数
受益者数	7,690,260	7,766,108	4,283,659
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5	5	9

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	鵜飼等招請事業での会社数	単位	社
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	40	40	40
実績値	35	39	中止

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	長良川温泉旅館宿泊者数(県内を除く)	単位	人泊
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	250,000	250,000	250,000
実績値	241,174	240,514	99,949
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	本市において観光振興は重要な施策であり、市や民間事業者が協働して進めるべき観光施策の実働部隊として協会が機能している。 協会の財源として賛助会費、商工会議所負担金などだけでは運営困難であり、協会設置の目的からも市も担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	効率的な事業展開により、約800万人の入込客数を記録し、観光振興につながっている。 市負担金だけでなく、商工会議所負担金、賛助会員会費等により運営されている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	低	旅行会社等の招請により、各社の旅行商品が増加し、ひいては観光客誘致につながっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	地域やターゲット、時期など幅広く情報発信することが本市への観光客誘致につながっており、情報を享受した個々からの受益者負担はなじまない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	岐阜市の観光・コンベンション振興を担う唯一の組織であり、今後も引き続き負担金による支援を継続すべき。

事業評価シート

番号 | 0660020 - 004

【1.基本情報】

事業名	GIFUナイトビュー事業（岐阜城パノラマ夜景[岐阜城]）			
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体
実施期間	平成13 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	本市の貴重な観光資源である金華山・長良川を活用した事業の実施により、全国から幅広く観光客の誘致を図り、地域経済の活性化に寄与する。		
事業の内容	岐阜城パノラマ夜景(岐阜城)		
事業の対象	何を	イベント	
	誰に (対象者・対象者数)	市民・観光客	
	どのくらい (具体的 の数値で)	計70日間程度	
令和2年度 (実施内容)	計69日間(うち新型コロナウイルス感染症の影響により53日間中止)		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	951	30	1,020	30	975	30
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	951	30	1,020	30	975	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,900	2,900	1,904
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
負担金	2,900	2,900	1,904
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	2,900	2,900	1,904

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	3,851	3,920	2,879

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	3,851	3,920	2,879

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民、観光客	市民、観光客	市民、観光客
受益者数	9,394	10,082	2,861
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	410	389	1,006

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	イベント開催数	単位	日
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	70	70	70
実績値	75	76	16

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	イベント参加者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	12,000	12,000	12,000
実績値	9,394	10,082	2,861
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※[1][2]から	中	<p>岐阜城パノラマ夜景は平成13年から開始し、例年1万人以上が来場する岐阜市の夜の観光スポットとして定着している。</p> <p>市の新たな観光資源の創出、岐阜城なども含めた観光資源への観光客誘致を目的としており、観光関係団体と共に、市も事業費を負担すべき。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※[1][3][4][5][6]から	高	<p>岐阜城パノラマ夜景は、岐阜城及び金華山ロープウェーの協力のもと実施しており、実行委員会においてはチラシ作成や広告費用のみ負担している。</p> <p>現在も実行委員会形式で実施しており、観光関連事業者や地元自治会の協力を得ながら進めている。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※[2][7]から	中	<p>岐阜城パノラマ夜景は、各メディアに毎年紹介されるなど岐阜市のイベントとして定着しており、例年一定数の観光客が訪れている。</p> <p>毎年、来場促進イベントやノベルティグッズの検討を行い、夜景への誘客効果を高める工夫を行っている。</p>
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※[2][6][7]から	中	岐阜城パノラマ夜景の開催期間において、ロープウェーは営業努力により割引運賃としているが、岐阜城は入館料を徴収しており、受益者負担の面で公平性は確保できている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	岐阜城パノラマ夜景は、山上に岐阜城を有する岐阜市ならではのイベントであり、また集客実績のあるナイトタイムコンテンツとして今後も継続していくべきと考える。

事業評価シート

番号 0660020 - 005

【1.基本情報】

事業名	岐阜市まちなか博士育成事業			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市
実施期間	平成17 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	市民・事業者・行政の3者が協働で観光を中心としてまちなかの活性化を図る		
事業の内容	岐阜市まちなか博士認定試験 ※平成29年度については信長公450プロジェクトを記念し、「信長検定」を実施 岐阜市まちなか案内人説明会の開催		
事業の対象	何を	岐阜市の歴史・地理・文化等の知識、教養の習得	
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光事業従事者(受験申込者数 概ね300人)	
	どのくらい (具体的 数値で)	認定試験の実施(年1回)	
令和2年度 (実施内容)	岐阜市まちなか博士初級・上級認定試験(12月19日)		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	951	30	1,020	30	975	30
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	951	30	1,020	30	975	30

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		1,215	525	992
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
印刷製本費	696	203	649	
委員報酬	182	182	164	
会場使用料	93	92	133	
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
計(D)=B+C	1,215	525	992	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,166	1,545	1,967

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,166	1,545	1,967

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市まちなか博士認定試験申込者数	岐阜市まちなか博士認定試験申込者数	岐阜市まちなか博士認定試験申込者数
受益者数	254	184	255
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	8,528	8,397	7,714

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	岐阜市まちなか博士認定試験の開催回数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	1	1	1
実績値	1	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	岐阜市まちなか博士認定試験の受験者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	210	210	210
実績値	205	143	179
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>観光事業者の新規採用者など毎年200名近い申込者数があり、本市のホスピタリティ向上を図るニーズに合っている。</p> <p>岐阜市の歴史・地理・文化等の知識、教養の習得を目的とするため、国や県での実施は難しい。また営利目的では受験者数が減少する恐れがあり、民間事業者が主催での実施は難しい。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>必要最低限の予算内で実施している中で、受験申込者が観光事業従事者など200名近くあることから、費用対効果は高い。</p> <p>専門的知識や市民目線を持つ有識者の協力のもと、必要最低限の予算内で実施している。民間活用することにより、予算増に繋がる恐れがある。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	事業を実施することで、本市の魅力を説明できる人材が育成される。また、観光事業(宿泊施設、観光施設等)の従事者が受験することで、得た知識が観光客へ発信されるなど、本市の観光PRに寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者負担がないことで、受験に係る制限は少なく、申込者数が確保できるメリットがある反面、未受験者が発生しやすいというデメリットがある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	これまで、約5,000人と多くの方が受験申込みし、合格者がまちなか案内人になるなど、まちなか歩き・まちなか観光の推進や市民の知識向上にも大いに貢献している。

事業評価シート

番号 | 0660020 - 006

【1.基本情報】

事業名	笑いと感動のまちづくり事業			
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体
実施期間	平成15 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	落語の祖・安楽庵策伝ゆかりの岐阜市を拠り所に、日本一元気な県都・岐阜市の実現を目指す。町の活性化及び人の健康のため「笑いと感動」を切り口として、まちづくりの観点からも本事業を推進する。		
事業の内容	①全日本学生落語選手権「策伝大賞」 ②有料落語会 ③普及啓発事業 等		
事業の対象	何を	①全日本学生落語選手権「策伝大賞」 ②有料落語会 ③普及啓発事業	
	誰に (対象者・対象者数)	①落語関係者約300人、観客約1,400人 ②観客約1,500人 ③小学6年生冊子配布約3,800人	
	どのくらい (具体的 的 数値で)	①選手権開催(2日間) ②有料落語会開催(1日間) ③冊子配布(年1回)	
令和2年度 (実施内容)	第18回全日本学生落語選手権「策伝大賞」の開催(予選1月17日、決勝2月21日)、有料落語会の開催(2月22日)、「落語の祖 岐阜の策伝さん」配布(2,174冊)、小学6年生対象落語出前講座(コロナのため令和3年度に延期)		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,121	130	4,420	130	4,225	130
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	4,121	130	4,420	130	4,225	130

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	12,962	12,677	12,970
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
負担金	12,962	12,677	12,970
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	12,962	12,677	12,970

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	17,083	17,097	17,195

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	17,083	17,097	17,195

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	策伝大賞参加学生、観覧者	策伝大賞参加学生、観覧者	策伝大賞参加学生、観覧者
受益者数	2,451	2,060	487
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,970	8,300	35,308

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	策伝大賞予選会の出場者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	228	211	80
実績値	217	205	72

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	策伝大賞予選会、決勝大会の観覧者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	2,000	2,000	300
実績値	2,223	1,849	415
達成状況	○(達成)	×(未達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>アンケートの結果から、事業に対する感想として「良い」とされる意見が9割ほどあり、自由記述を見ても継続を望む市民は多く、ニーズに合っている。</p> <p>イベント自体が市のPRに直結しているとともに、事業の拠り所である安楽庵策伝の所縁は岐阜市にあり、市で行うべき。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>桂文枝師匠、立川志の輔師匠の知名度を考えると、本事業の予算内で実施できることは落語を通じた縁があってこそであり、費用対効果は高い。</p> <p>落語爱好者や落語に理解のある団体、落語にゆかりのある市内団体と連携することで、効率的に事業を実施している。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	笑いと感動を切り口として続けられてきた事業として、着実に認知度は高まっている。令和元年度は、予選会、決勝大会の観覧者数が目標値より減少したが、決勝大会の観覧希望者数は観覧当選数の2.5倍と依然高く、今回の観覧者数の減少は新型コロナウィルス感染症拡大に起因するものと考えられる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	策伝大賞の学生エントリー、観覧希望者、各イベントの周知は制限なく広く実施されており、有料落語会は実行委員会で適正な観覧料を徴収している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	令和2年度のアンケートの結果からも事業の継続を望む声が多く、全国から本市に集う学生に、本市の魅力をPRすることができる貴重な事業であるため、継続実施していくべき。

事業評価シート

番号 0660020 - 007

【1.基本情報】

事業名	岐阜祭補助金			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体
実施期間	昭和50 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

事業の目的	観光客誘致、地域の活性化、観光資源の保全育成、市特有の観光資源等を広く宣伝することにより本市の観光の振興と発展を目的とする。		
事業の内容	市民の氏神、伊奈波神社・金神社をはじめとする市内一円の例祭で、祭りに伴う行事としてみこし、山車の巡回等様々な事業が行われるものに対して補助する。		
事業の対象	何を	岐阜祭に対する補助	
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜祭実行委員会	
	どのくらい (具体的 の数値で)	補助対象経費の2分の1以内	
令和2年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	0	0
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	0	0

(2)物いかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		500	500	0
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
補助金	500		500	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	500		500	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	532	534	0

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	532	534	0

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	山車・みこし	山車・みこし	—
受益者数	12	12	—
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	44,308	44,500	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	500	500	500
実績値	500	500	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	山車・みこし数	単位	台
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	12	12	12
実績値	12	12	—
達成状況	○(達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>市民の氏神、伊奈波神社・金神社をはじめとする市内一円の例祭で、県内外から多くの観光客が訪れる春の一大イベントとして定着しており、社会のニーズに合っている。</p> <p>本事業の協賛として道三まつりも開催されるなど、市への観光客誘致・地域の活性化に寄与しているため市が実施すべきである。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>補助率は全体の事業費の10%未満であり、市外・県外から例年多くの観光客を集めている。</p> <p>民間主体の事業であり、市が地域の活性化に寄与する事業に対し補助金を交付することは、最も効率的な方法である。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	岐阜市の重要な観光資源の一つであり、市民だけでなく市外・県外から例年多くの観光客を集めている。また、市外へ向けて岐阜市のPRが行われており事業効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担ではなく、事業内容が受益者負担を求めるに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	岐阜祭は春の訪れを告げる伝統的な祭りで、市外・県外から例年多くの観光客が訪れる春の一大イベントとして岐阜市の観光振興及び地域の活性化に大きく寄与している。補助率も10%未満と費用対効果も高く事業効果が得られているため補助金交付は妥当である。

事業評価シート

番号 0660020 - 008

【1.基本情報】

事業名	池ノ上裸まつり補助金			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体
実施期間	昭和62 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

事業の目的	観光客誘致、地域の活性化、観光資源の保全育成、市特有の観光資源等を広く宣伝することにより本市の観光の振興と発展を目的とする。		
事業の内容	室町時代に端を発すると言われる伝統行事。毎年12月第2土曜日に長良川畔で行われる伝統的な民俗行事に対して補助する。		
事業の対象	何を	池ノ上裸まつりに対する補助	
	誰に (対象者・対象者数)	池ノ上裸まつり実行委員会	
	どのくらい (具体的 数値で)	補助対象経費の2分の1以内	
令和2年度 (実施内容)	池ノ上裸まつりの支援 補助実績額:9万円 ※補助率25.8%		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	33	1
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	33	1

(2)物いかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		90	90	90
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
補助金	90		90	90
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	90		90	90

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	122	124	123

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	122	124	123

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	3,000	3,000	100
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	41	41	1,225

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	90	90	90
実績値	90	90	90

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	5,000	5,000	3,000
実績値	3,000	3,000	100
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>室町時代から続いている伝統行事であり、池ノ上地区に残る民俗行事を後世に伝えるため、本事業は必要である。</p> <p>地区の民俗行事であるが、市外からの見物客もあり、市への観光客誘致・地域の活性化に寄与しているため市として支援する。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>令和2年度は、新型コロナ感染症拡大防止の観点から一般からの参加を不可としたため来場者数は厳しい数字となったものの、例年、冬季に行われる数少ない観光資源の一つとして観光客を集めている事業である。</p> <p>民間主体の事業であり、市が地域の活性化に寄与する事業に対し補助金を交付することは、最も効率的な方法である。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	池ノ上地区に残る伝統的な文化を後世に伝えるための行事であるが、毎年一定の観光客が訪れており、本事業は有効である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担ではなく、事業内容が受益者負担を求めるに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	池ノ上地区に古くから伝わる奇祭で、冬季に行われる数少ない観光資源の一つとして多くの方に知られている行事である。岐阜市の観光振興及び地域の活性化に寄与しており、補助率の観点からも補助金交付は妥当である。

事業評価シート

番号 0660020 - 010

【1.基本情報】

事業名	ぎふ梅まつり補助金			
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体
実施期間	昭和62 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

事業の目的	観光客誘致、地域の活性化、観光資源の保全育成、市特有の観光資源等を広く宣伝することにより本市の観光の振興と発展を目的とする。				
事業の内容	岐阜市随一の規模、種類を誇る梅林公園を中心に地域住民によって実施される手作りのイベントに対して補助する。				
事業の対象	何を	ぎふ梅まつりに対する補助			
	誰に (対象者・対象者数)	ぎふ梅まつり実行委員会			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助対象経費の2分の1以内			
令和2年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染症対策のため中止				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	0	0
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	0	0

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		90	90	0
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
補助金	90		90	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0		0	0
計(D)=B+C	90		90	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	122	124	0

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	122	124	0

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	60,000	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2		

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	90	90	—
実績値	90	90	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	70,000	70,000	—
実績値	60,000	0	—
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域住民だけではなく、県内外から花見を楽しむ多くの観光客が訪れる春の一大イベントとして定着しており、社会のニーズに合っている。 地区の祭であるが、市外から多くの観光客が訪れており、市への観光客誘致・地域の活性化に寄与しているため、市として支援する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	令和元年度は、補助率が全体の事業費の21.7%程度と高いが、事業中止となりそれまでにかかった経費への補助であり、例年は10%程度に抑えられている。例年、市外・県外から多くの観光客を集めている。 民間主体の事業であり、市が地域の活性化に寄与する事業に対し補助金を交付することは、最も効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	岐阜市の重要な観光資源となっており、市民だけでなく市外・県外から例年多くの観光客を集めている。また、市外へ向けて岐阜市のPRが行われており事業効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担ではなく、事業内容が受益者負担を求めるに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	梅林公園周辺の住民によって実施されるイベントで、梅花の種類・本数ともに岐阜市随一の規模を誇る。例年多くの観光客が訪れる春の一大イベントとして岐阜市の観光振興及び地域の活性化に大きく寄与している。補助率も中止となった本年度を除いては例年10%程度と費用対効果も高く事業効果が得られているため、補助金交付は妥当である。

事業評価シート

番号 0660020 - 011

【1.基本情報】

事業名	長良川まつり補助金			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体
実施期間	昭和58 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

事業の目的	観光客誘致、地域の活性化、観光資源の保全育成、市特有の観光資源等を広く宣伝することにより本市の観光の振興と発展を目的とする。				
事業の内容	長良川の伝統的で重要な行事である長良川まつり(提灯船の出船など)の事業に対して補助する。				
事業の対象	何を	長良川まつりに対する補助			
	誰に (対象者・対象者数)	長良川まつり実行委員会			
	どのくらい (具体的 な数値で)	補助対象経費の2分の1以内			
令和2年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	0	0
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	0	0

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		250	250	0
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
補助金	250		250	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	250		250	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	282	284	0

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	282	284	0

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	来場者	来場者	—
受益者数	3,000	2,000	—
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	94	142	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	250	250	250
実績値	250	250	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	2,000	2,000	2,000
実績値	3,000	2,000	—
達成状況	○(達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	長良橋周辺において古くから長良川の川開き行事として親しまれており、鵜飼屋地区に残る伝統行事を後世に伝えるため、本事業は必要である。 地域の祭であるが、多くの観光客が訪れており、市への観光客誘致・地域の活性化に寄与しているため、市として支援する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	令和元年度の補助率は全体の事業費の31.6%程度と高いが、例年多くの観光客を集めている。 民間主体の事業であり、市が地域の活性化に寄与する事業に対し補助金を交付することは、最も効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	鵜飼屋地区に残る伝統的な文化を後世に伝えるための行事であるが、毎年一定の観光客が訪れており、本事業は有効である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担ではなく、事業内容が受益者負担を求めるに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	長良橋周辺において古くから長良川の川開き行事として親しまれており、提灯船は、長良川の夏の風物詩として多くの方に知られている。岐阜市の地域の活性化に寄与しており、長良川の伝統的で重要な行事であるため、実施に向けた支援を継続していく。

事業評価シート

番号 0660020 - 012

【1.基本情報】

事業名	全国選抜長良川中日花火大会補助金			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体
実施期間	昭和52 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

事業の目的	観光客誘致、地域の活性化、観光資源の保全育成、市特有の観光資源等を広く宣伝することにより本市の観光の振興と発展を目的とする。		
事業の内容	長良川河川敷を会場に開催される、全国有数の花火大会に対して補助する。		
事業の対象	何を	長良川で開催される花火大会に対する補助	
	誰に (対象者・対象者数)	株式会社中日新聞社	
	どのくらい (具体的 の数値で)	補助率1.3% (R1) 補助額1,350,000円	
令和2年度 (実施内容)	事業中止		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	33	1
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	33	1

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		1,350	1,350	0
直接事業費の主な内訳	直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	補助金	1,350	1,350	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)	減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	計(D)=B+C	1,350	1,350	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	1,382	1,384	33

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	1,382	1,384	33

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	来場者	来場者	—
受益者数	350,000	350,000	—
受益者負担額(千円)	0	0	
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4	4	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	1,350	1,350	—
実績値	1,350	1,350	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	千人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	250	250	—
実績値	350	350	—
達成状況	○(達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>全国有数の規模を誇る花火大会で、県内外から多くの観光客が訪れる夏の一大イベントとして定着しており、社会のニーズに合っている。</p> <p>県内外から多くの観光客が訪れており、市への観光客誘致・地域の活性化に寄与しているため、市として支援する。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>補助率は全体の事業費の1.3%程度であり、市外・県外から例年多くの観光客を集めている。</p> <p>民間主体の事業であり、市が地域の活性化に寄与する事業に対し補助金を交付することは、最も効率的な方法である。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	岐阜市の重要な観光資源となっており、市民だけでなく市外・県外から例年多くの観光客を集めている。また、全国へ向けて岐阜市のPRが行われており事業効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担ではなく、事業内容が受益者負担を求めるに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	全国有数の規模を誇る花火大会で、市外・県外から例年多くの観光客が訪れる夏の一大イベントとして岐阜市の観光振興に大きく寄与している。補助率も1.3%と費用対効果も高く事業効果が得られているが、今後の開催が未定のため補助のあり方について検討する必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 - 013

【1.基本情報】

事業名	全国花火大会補助金			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体
実施期間	昭和52 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

事業の目的	観光客誘致、地域の活性化、観光資源の保全育成、市特有の観光資源等を広く宣伝することにより本市の観光の振興と発展を目的とする。		
事業の内容	長良川河川敷を会場に開催される、全国有数の花火大会に対して補助する。		
事業の対象	何を	長良川で開催される花火大会に対する補助	
	誰に (対象者・対象者数)	株式会社岐阜新聞社	
	どのくらい (具体的 の数値で)	補助率2.6% (R1) 補助額2,250,000円	
令和2年度 (実施内容)	事業中止		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	33	1
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	33	1

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		2,250	2,250	0
直接事業費の主な内訳	直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	補助金	2,250	2,250	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)	減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	計(D)=B+C	2,250	2,250	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,282	2,284	33

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,282	2,284	33

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	来場者	来場者	—
受益者数	350,000	350,000	—
受益者負担額(千円)	0	0	
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	7	7	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	2,250	2,250	—
実績値	2,250	2,250	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	千人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	250	250	—
実績値	350	350	—
達成状況	○(達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>全国有数の規模を誇る花火大会で、県内外から多くの観光客が訪れる夏の一大イベントとして定着しており、社会のニーズに合っている。</p> <p>県内外から多くの観光客が訪れており、市への観光客誘致・地域の活性化に寄与しているため、市として支援する。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>補助率は全体の事業費の2.6%程度であり、市外・県外から例年多くの観光客を集めている。</p> <p>民間主体の事業であり、市が地域の活性化に寄与する事業に対し補助金を交付することは、最も効率的な方法である。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	岐阜市の重要な観光資源となっており、市民だけでなく市外・県外から例年多くの観光客を集めている。また、全国へ向けて岐阜市のPRが行われており事業効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての市民が受益対象者であり公平である。また、受益者負担ではなく、事業内容が受益者負担を求めるに適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	全国有数の規模を誇る花火大会で、市外・県外から例年多くの観光客が訪れる夏の一大イベントとして岐阜市の観光振興に大きく寄与している。補助率も2.6%と費用対効果も高く事業効果が得られているが、今後の開催が未定のため、補助のあり方にについて検討する必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 - 014

【1.基本情報】

事業名	観光タクシー運営補助金			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体
実施期間	平成9 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	岐阜市観光事業補助金交付要綱

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜を訪れる観光客が効率よく岐阜市内及び近郊を観光できるようにする。 観光客の立場に立って、心のこもったサービスができる観光タクシー事業の充実を図り、観光のイメージアップに寄与する事業を支援する。		
事業の内容	観光講習会及び研修会の実施に対する補助、運営協議会事務運営に対する補助		
事業の対象	何を	正確な観光案内をするための講習会、研修会などに対する補助	
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市周辺観光タクシー運営協議会	
	どのくらい (具体的 数値で)	補助額600,000円	
令和2年度 (実施内容)	観光講習会及び研修会の実施に対する補助、運営協議会事務運営に対する補助		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	159	5	170	5	163	5
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	159	5	170	5	163	5

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		600	600	600
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
補助金	600		600	600
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	600		600	600

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	759	770	763

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	759	770	763

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜県タクシー協会岐阜支部会員	岐阜県タクシー協会岐阜支部会員	岐阜県タクシー協会岐阜支部会員
受益者数	155	141	139
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,894	5,461	5,486

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金額	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	600	600	600
実績値	600	600	600

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	ガイド乗務員の人数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	350	350	350
実績値	155	141	139
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	ホスピタリティの高いタクシー乗務員を育成し、岐阜を訪れる観光客が効率よく岐阜市内及び近郊を観光できるようにするもので、社会のニーズに合っている。 岐阜市とその近郊を周遊するものであり、岐阜県やその他周辺市町村と広域で事業を担うことができないか検討する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	補助率は全体の事業費の30.0%程度である。ガイドタクシーのコース数や行き先のリニューアルにより利用実績が増加傾向にあり、市外・県外から多くの観光客を集めている。 岐阜市とその近郊を周遊するものであり、岐阜県やその他周辺市町村と広域で対応ができないか検討する必要がある。また、団体育成補助金として補助を行っているが、事業補助金としての補助に切り替えることを検討している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	研修を受講したものの、実際の乗務に活かしきれていない乗務員もあり、一部のベテラン乗務員に頼る状況にある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	観光客の利便性向上のため、二次交通としてタクシーの利用環境の整備は必要不可欠である。そのため本事業の受益者としてタクシー乗務員が適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	FIT化により個人の旅行者が増加する中、今後需要の増加が見込まれるため、ガイドタクシーの周知啓発の強化など効果的な運用が求められる。なお、現在、団体育成補助金として補助を行っているが、事業補助金としての補助に切り替えることを検討している。

事業評価シート

番号 0660020 - 015

【1.基本情報】

事業名	国際観光振興機構負担金			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体
実施期間	平成2 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	国際会議観光都市同士の連携による国際コンベンション及び海外観光客の誘致			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・海外マスメディアを活用した記者招聘等PR活動 ・MICEセミナーの開催 ・海外におけるセールス活動 			
事業の対象	何を	本市を含む国内観光情報及びコンベンション関連情報		
	誰に (対象者・対象者数)	外国人観光客、旅行会社など		
	どのくらい (具体的 な 数値で)	訪日プロモーションにかかる商談会2万件以上、国際会議誘致にかかる商談会1700件以上 など		
令和2年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議キーパーソン招請・視察 ・MICEセミナーの開催 ・海外におけるセールス活動 			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	33	1
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	33	1

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		300	300	300
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
負担金	300		300	300
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	300		300	300

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	332	334	333

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	332	334	333

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市	市	市
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	国際観光振興機構負担金	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	300	300	300
実績値	300	300	300

アウトカム評価 (アウトプットよりもたらされた成果)			
成果指標名	市が参加した観光展及び商談会	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	3	3	3
実績値	3	3	0
達成状況	○(達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	国が新たな観光ビジョンを策定し、訪日外国人観光客の増加を目標に掲げる中、本市においても、外国人観光客誘致は重要である。 市単独では実施できない観光展や商談会に参加できるなど、会員となるメリットは大きく、同機構への支出は必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市単独では実施できない観光展や商談会に参加できるなど、スケールメリットを生かした事業に参加でき、費用対効果は高い。 団体は外国人旅行者の誘致活動を行なう唯一の政府機関であり、代替できる組織はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	新型コロナウィルス感染症の影響により、市から参加した観光展及び商談会の実績はなかったものの、平時においては、同機構が主催する海外観光展への参加や、国内商談会などへの参加することによる効果は非常に高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者は観光者になり、実際、岐阜市を訪れ、宿泊等することは観光者の負担になるため、公平である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	外国人観光客を誘致するうえで、国と連携し、事業展開することは重要であり、今後も同機構への加入は必要である。

事業評価シート

番号 0660020 - 016

【1.基本情報】

事業名	岐阜市まちなか観光推進事業			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市
実施期間	平成19 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市を訪れた観光客に対して、おもてなしの心を持って接することで観光客の満足度を上げ、岐阜市のイメージアップにつなげると共にリピーターを確保する。			
事業の内容	岐阜市まちなか案内人の会の活動の充実と更なる組織強化を支援し、岐阜公園周辺・川原町界隈などで観光案内拡充を図るとともに、案内体制の整備・強化とホスピタリティの向上を目指す。			
事業の対象	何を	岐阜公園周辺及び川原町界隈を中心とした観光案内		
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市を訪れた観光客		
	どのくらい (具体的 数値で)	毎日		
令和2年度 (実施内容)	岐阜市まちなか案内人研修会の実施(年1回)→新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止 岐阜市まちなか案内人と行く「金華山歴史探訪登山」・「岐阜町歴史探訪町歩き」の開催(年8回)			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,585	50	1,700	50	1,625	50
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	1,585	50	1,700	50	1,625	50

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		105	5	26
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
報償費	56	0	0	0
消耗品費	43	5	26	
印刷製本費	0	0	0	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
	0	0	0	0
計(D)=B+C	105	5	26	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	1,690	1,705	1,651

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	1,690	1,705	1,651

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	観光客	観光客	観光客
受益者数	1,029	1,288	492
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,642	1,324	3,356

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	岐阜市まちなか案内人の会員数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	50	50	55
実績値	46	54	53

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	案内件数	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	100	100	120
実績値	101	125	48
達成状況	○(達成)	○(達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	<p>観光ガイドに関する問い合わせは多くあり、観光客の満足度向上のためにも本事業は必要である。</p> <p>岐阜市まちなか博士認定試験合格者の有志で組織されており、岐阜市内の観光案内を行う観光振興に寄与する団体であるため、市として支援する。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>必要最低限の予算内で会の支援を行っている中で、「歴史探訪登山」や「歴史探訪まち歩き」は定員を超える申し込みがあることから、費用対効果は高い。</p> <p>岐阜市まちなか博士認定試験に合格した方が観光ボランティアガイドとして会を結成していることから、まちなか博士育成事業とも効率的な連携がとれている。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	本事業の実施により、岐阜市まちなか博士認定試験の合格者に活動の場を提供するとともに、より高度に本市の魅力を説明できる人材が育成され、本市の観光振興に大いに寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての観光客が受益対象者になりえるため公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	観光ボランティアガイドとして一定数の需要があり、平成26年度からはボランティア団体として独立しているため、会の活動支援の方法について、他団体との関係も含めて検討が必要。

事業評価シート

番号 0660020 - 017

【1.基本情報】

事業名	長良川国際会議場運営管理			
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課
未来地図政策	公共施設等の最適な管理・運営		政策コード	7 - 5 - 0 - 0
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	トリニティぎふ
実施期間	平成7 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	岐阜市長良川国際会議場条例

【2.事業概要】

事業の目的	国際コンベンション都市づくりの拠点として、産業、学術及び文化の向上を図るとともに、市民福祉の向上を図るため、施設を供与する。		
事業の内容	長良川国際会議場の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、イベント・コンベンションの誘致、施設内外の保全、施設及び設備等の保守管理、自主事業の実施。		
事業の対象	何を	長良川国際会議場の施設等	
	誰に (対象者・対象者数)	施設利用者	
	どのくらい (具体的 数値で)	320,000人	
令和2年度 (実施内容)	指定管理者による管理・運営を実施。 岐阜観光コンベンション協会との相互協力などによるイベント・コンベンションを誘致するとともに、産業、学術及び文化の向上を図るため、自主(共催)事業を実施した。		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,522	48	1,632	48	1,950	60
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	1,522	48	1,632	48	1,950	60

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		244,864	242,008	331,990
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
委託料	132,108	129,225	215,022	
工事請負費	105,288	104,145	101,497	
備品購入費	4,896	4,606	3,479	
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
	288,810	288,810	28,810	
計(D)=B+C	533,674	530,818	360,800	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	535,196	532,450	362,750

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	91,500
使用料・手数料	336	25	336
その他	1,411	1,571	999
計(F)	1,747	1,596	92,835

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	533,449	530,854	269,915

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	274,536	250,716	51,851
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,943	2,117	5,206

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	359	359	359
実績値	359	359	359

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数	単位	千人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	320	320	280
実績値	274	250	52
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	MICEの推進は市としても重要であり、その中心的な施設として不可欠である。
		利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	管理経費(事業費)には多額の費用を要するものの、高い利用者満足度から費用対効果はあると考える。
		利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費を削減している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	上半期は新型コロナウィルス感染症拡大の影響で、施設の休館や貸室利用のキャンセルが相次いだが、下半期の施設料金稼働率は約10%から約30%に回復し、今後も効果が見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から		施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	施設の設置目的を果たし、多くの利用者に高い満足度のもと利用されている。施設老朽化に係る課題があるため、指定管理者とともに長寿命化を念頭においた維持管理に努める。

事業評価シート

番号 0660020 - 018

【1.基本情報】

事業名	道の駅柳津交流センター運営管理			
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課
未来地図政策	公共施設等の最適な管理・運営		政策コード	7 - 5 - 0 - 0
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	有限会社アミカル柳津
実施期間	平成16 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	岐阜市道の駅柳津交流センター条例

【2.事業概要】

事業の目的	一般道の利用者等に対し、良好な休憩の場を提供するとともに、地場産品の販売等を通して商業をはじめとする産業の活性化を図るため、施設を供与する。		
事業の内容	道の駅柳津交流センターの運営(利用受付、物販館等の貸出、利用料金の徴収など)、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理。		
事業の対象	何を	道の駅柳津交流センターの施設等	
	誰に (対象者・対象者数)	施設利用者	
	どのくらい (具体的 数値で)	65,000人	
令和2年度 (実施内容)	指定管理者による管理・運営を実施。		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	761	24	816	24	975	30
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	761	24	816	24	975	30

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		10,892	11,711	12,892
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
委託料(指定管理料)	10,812	10,913	12,748	
修繕料	0	556	0	
負担金	80	80	144	
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
	3,484	3,484	3,484	
計(D)=B+C	14,376	15,195	16,376	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	
		15,137	16,011	17,351

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	1	1	1
計(F)	1	1	1

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	
		15,136	16,010	17,350

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	65,395	63,836	51,923
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	231	251	334

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	310	308	310
実績値	310	308	270

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	65,000	65,000	65,000
実績値	65,395	63,836	51,923
達成状況	○(達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	主要道路の休息地点となっており、地域住民の交流の場となっている他、地元農産物の販路を確保することで、地域産業の活性化に寄与している。
		利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で来場者数が減少したが、施設の来場者数は徐々に回復しており、費用対効果はあると考えられる。
		利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費を削減している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で来場者数が減少したが、施設の来場者数は徐々に回復しており、境川緑道公園のウォーキングの休憩施設として今後も効果が見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から		物販館、農産物を販売するスペースは公に開かれており、施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	道の駅の本来としての役割のほか、地域農産物販売等で地域産業の活性化に寄与している。

事業評価シート

番号 0660020 - 019

【1.基本情報】

事業名	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他補助金	実施主体
実施期間	平成16 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜県を代表する主要観光地である岐阜市、下呂市、郡上市の三市が共同して観光客の誘致及び宣伝を行い、お互いの相乗効果を図るとともに、パブリシティの効用を一層高めること				
事業の内容	三市への観光客誘致宣伝活動				
事業の対象	何を	岐阜市の観光情報			
	誰に (対象者・対象者数)	観光客となりうる全ての人々(外国を含む)			
	どのくらい (具体的 の数値で)	WEB記事6本、Facebook動画6本、YouTube動画7本、Instagram6本			
令和2年度 (実施内容)	①香港プロモーション事業、②東アジア・東南アジアプロモーション事業、 ③タイプロモーション事業				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人におけるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,170	100	3,400	100	3,250	100
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	3,170	100	3,400	100	3,250	100

(2)物におけるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		2,000	2,000	2,000
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
負担金	200		200	200
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	2,000		2,000	2,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	5,170	5,400	5,250

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	5,170	5,400	5,250

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市・下呂市・郡上市	岐阜市・下呂市・郡上市	岐阜市・下呂市・郡上市
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	香港市場における広告発信回数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	10	10	10
実績値	12	9	25

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	香港からの宿泊者数(長良川温泉)	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	7,000	7,000	7,000
実績値	6,740	6,725	1,199
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	政府は2030年に訪日外国人旅行者の6,000万人の達成を目指すとしており、本市でも広域連携を組みながら、外国人旅行者の誘致や交流人口の拡大に努める必要がある。 岐阜県を代表する主要観光地である岐阜市・下呂市・郡上市の3市で協議会を設立し、共同して観光客の誘致及び宣伝を展開しており、岐阜市としても事業を担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	1市単独ではできない事業を3市でそれぞれ負担し、県や国からの補助金を得て実施しているため、費用対効果は高い。 3市の協議会で実施していることに加え、近年では中部運輸局等とも連携して、更に事業を広域展開するなど効率的に実施できている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	効果的な誘客を図るためにには、テーマ性を持った広域連携は必要不可欠である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	低	受益者は観光者になり、実際、岐阜市を訪れ、宿泊等することは観光者の負担になるため、受益者負担の面では公平であるが、3市の負担金割合の面では負担金額に差があり、検討の必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	国内市場向けの誘致宣伝事業や海外向けの誘客事業を通し宿泊客数等は増加しており、費用対効果は高い。今後、効果的なPR方法を検討し、3市の認知度をさらに上げていく必要がある。また、負担金額についても検討の必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 - 020

【1.基本情報】

事業名	信長公居城連携協議会			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体
実施期間	平成22 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	戦国武将「織田信長公」が城を構えた地である岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市の4市が連携し、「織田信長公」の歩みを現代において体感できる広域観光の路を確立し、信長公の居城をキーワードとした共同PRなどを行うことで観光客を誘致し、各市の観光振興を図ること				
事業の内容	本市への観光客誘致宣伝活動				
事業の対象	何を	岐阜市をはじめとする4市の観光資源			
	誰に (対象者・対象者数)	観光客となりうるすべての人々			
	どのくらい (具体的 数値で)	スタンプラリーの実施(年間)			
令和2年度 (実施内容)	・御城印ラリー(新規事業) 10月1日～3月31日 実施 ・共同パンフレット、ホームページによる情報発信 ・ポスター作製 ・お城EXPOへの共同出展				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,170	100	3,400	100	3,250	100
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	3,170	100	3,400	100	3,250	100

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		400	400	394
直接事業費の主な内訳	直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	負担金	400	400	394
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
計(D)=B+C	400	400	394	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	3,570	3,800	3,644

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	3,570	3,800	3,644

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市	岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市	岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	スタンプラリー参加者	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	400	400	400
実績値	376	361	663

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	岐阜市観光HPアクセス数	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	120,000	120,000	120,000
実績値	62,207	60,019	53,040
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	歴史的な共通テーマを持った誘客事業は、昨今、観光客の関心も高く、効果的な誘客を図るのに必要である。 450プロジェクト後の岐阜市を「信長公命名のまち岐阜市」としてブランド発信していくうえで、居城連携の枠組みは必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	総事業費がそれほど大きくないため、少ない予算でいかに大きな効果を生むことができるかが課題。また、岐阜市(40万円)と他3市(20万円)とで負担金額が異なる点も検討が必要 居城というテーマに合った関係4市が広域連携を組み、効率的な事業を実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	岐阜市単独の誘客活動では得られなかった、広域的な誘客を図ることができた。また「お城EXPO2019」に共同出展を行い、お城ファンの方々にターゲットを絞った効果的なPRを行うことができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	低	4市を訪れた観光客は、入場料など、それぞれの施設で受益者負担を担っている。一方で、3市の負担金割合の面では負担金額に差があり、検討の必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	テーマ性を持った広域連携による誘客施策は効果的であり、事業は継続すべき。令和2年度よりマンネリ化し参加者が減少していたスタンプラリーを、御城印ラリーに変更することによって、参加者数が大幅に増加した。今後も情報発信の方法や、事業のブランディングと認知度向上を図っていく。また、各市の負担金額の検討する必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 - 021

【1.基本情報】

事業名	日本観光振興協会負担金			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体
実施期間	平成元 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	本市における国内外の観光客の増加促進		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全国広域観光振興事業(観光地域づくり基盤形成事業、広域観光促進事業など) ・観光人材育成事業(観光セミナーの開催、研修会等の開催) ・観光交流活性化事業(地域インバウンド推進事業など) 		
事業の対象	何を	岐阜市の観光情報	
	誰に (対象者・対象者数)	国内外の観光客	
	どのくらい (具体的 の数値で)	人材育成研修支援 5メニュー、観光展開催2件 など	
令和2年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光人材育成事業 ・観光交流活性化事業 ・広域観光振興事業 		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	33	1
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	33	1

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		270	270	270
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
負担金	270		270	270
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	270		270	270

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	302	304	303

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	302	304	303

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市	市	市
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	日本観光振興協会負担金	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	270	270	270
実績値	270	270	270

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市が参加した観光展及び商談会	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	4	4	4
実績値	4	4	0
達成状況	○(達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	国が新たな観光ビジョンを策定し、観光先進国に向けて事業展開する中、本市においても、国と連携した観光誘客施策は重要である。 市単独では実施できない観光展に参加できるなど、会員となるメリットは大きく、同協会への支出は必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市単独では実施できない観光展に参加できるなど、スケールメリットを生かした事業に参加でき、費用対効果は高い。 同協会は、我が国の観光振興に関する中枢機関として活動している公益社団法人であり、代替の方法はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	同協会が主催する観光展への参加や、フォーラムなどに参加することで効果的な誘客活動、情報収集ができる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市が受益者として、同協会の観光展やフォーラムに参加することで、幅広い誘客活動につながっている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	外国人観光客を誘致するうえで、国と連携し、事業展開することは重要であり、今後も同協会への加入は必要である。

事業評価シート

番号 0660020 - 022

【1.基本情報】

事業名	東海地区外国人観光客誘致促進協議会			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体
実施期間	平成10 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	外国人観光客の誘致			
事業の内容	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県及び名古屋市、静岡市、浜松市及び観光関係団体などが連携し、東海地区への外国人観光客の誘致を目指し、海外プロモーション、海外エージェント、プレス招聘事業などを行っている。岐阜市は岐阜県部会の会員として、岐阜県、県内市町村、観光関係団体などと連携を図り、各種事業を行っている。			
事業の対象	何を	岐阜市の観光情報		
	誰に (対象者・対象者数)	外国人観光客		
	どのくらい (具体的 の数値で)	海外向けプロモーション(台湾、シンガポール、タイ、フィリピンほか) など		
令和2年度 (実施内容)	・海外プロモーション事業…台湾旅行博(ITF)に伴う商談会の代替企画であるITF2020日台觀光オンライン説明会への参加 ・広報事業…FacebookやInstagram等を活用したPR事業			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	33	1
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	33	1

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		200	200	200
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
負担金	200		200	200
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	200		200	200

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	232	234	233

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	232	234	233

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市	市	市
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	東海地区外国人観光客誘致促進協議会負担金	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	200	200	200
実績値	200	200	200

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	海外プロモーション実施数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	11	6	6
実績値	11	6	6
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>訪日観光客数の増加が今後も見込まれるなか、県、市町村等の連携による海外からの誘客事業はスケールメリットの面や情報共有の面からも重要である。</p> <p>県が中心となり各市町村が主体となって行うべき事業である。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>1市単独では実施できない事業を県及び参加団体の負担で行うため、費用対効果は高い。</p> <p>現状として県が中心となり実施している。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	岐阜市単独で海外からの誘客を図るには限界があり、広域連携での誘客は必要不可欠である。また、海外からの誘客は、官民が協働で誘客する必要がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者は観光者になり、実際、岐阜市を訪れ、宿泊等することは観光者の負担になるため、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	海外からのFITが増加傾向の中で、岐阜市単独で海外市場に対し誘客を図ることは難しいため、協議会による広域連携を活かしたPRは必要である。

事業評価シート

番号 0660020 - 023

【1.基本情報】

事業名	岐阜県観光連盟負担金			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体
実施期間	平成元 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	本市における観光客の誘致		
事業の内容	・観光商品販売促進事業(海外誘客プロモーション事業、インターネット販売促進事業など) ・飛騨・美濃じまん観光キャンペーン強化事業(教育旅行誘致事業など)		
事業の対象	何を	本市を含む国内観光情報	
	誰に (対象者・対象者数)	国内外の観光客、旅行会社など	
	どのくらい (具体的 の数値で)	オンライン商談会2回、国内観光物産展5回、ホームページ「ぎふの旅ガイド」の運営など	
令和2年度 (実施内容)	・旅行商品販売促進事業 ・情報発信促進事業		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	159	5	170	5	163	5
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	159	5	170	5	163	5

(2)物いかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		423	423	423
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
負担金	423		423	423
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	423		423	423

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	582	593	586

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	582	593	586

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	国内外観光客の岐阜市宿泊者数	国内外観光客の岐阜市宿泊者数	国内外観光客の岐阜市宿泊者数
受益者数	594,179	724,582	350,621
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1	1	2

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	負担金額	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	423	423	423
実績値	423	423	423

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	国内外観光客の岐阜市宿泊者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	650,000	700,000	700,000
実績値	594,179	724,582	350,621
達成状況	×(未達成)	○(達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	観光情報源が多様化する中、同連盟が運営するホームページ「ぎふの旅ガイド」は個人・団体等様々なユーザーに活用されており、本市への誘客促進を図る上で重要である。 市単独で誘客を図るには限界があり、会員になることで広域的な連携を深めた誘客促進を行うことができる。そのため同連盟への支出は必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市単独では実施できない観光展に参加したり、広域連携したホームページの運営など、スケールメリットを生かした事業に参加でき、費用対効果は高い。 同連盟は、県内の観光振興に関する中枢機関として活動している一般社団法人であり、代替できる組織はない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	同連盟が主催する観光展への参加や、広域連携したホームページの運営に協力することにより、効果的に誘客促進をすることができ、今後も効果が見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市が受益者として、同連盟の観光展への参加や、広域連携したホームページの運営に協力することにより、幅広く誘客促進することができた。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	国内外から誘客促進するうえで、広域的な連携を深めることは重要であり、今後も同連盟への加入は必要である。

事業評価シート

番号 0660020 - 024

【1.基本情報】

事業名	JR岐阜駅構内岐阜市観光案内所運営管理			
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課
未来地図政策	公共施設等の最適な管理・運営		政策コード	7 - 5 - 0 - 0
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	
実施期間	平成9 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	観光案内所利用者に対し、観光情報をはじめとする様々な情報を提供し、案内業務を行うことでホスピタリティの向上を図るとともに、本市の魅力をわかり易く伝え、観光客の満足度向上及び観光消費額の増加を目指す。		
事業の内容	観光客をはじめとする本市へお越しになられた方々に対し、観光情報をはじめとする様々な情報を提供する案内業務を行うほか、観光案内所の運営管理を行う。		
事業の対象	何を	観光情報をはじめとする本市の情報	
	誰に (対象者・対象者数)	観光案内所利用者 約4万人	
	どのくらい (具体的 数値で)	年中無休 8:30～19:30	
令和2年度 (実施内容)	①案内業務 ②観光案内所の運営管理		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,268	40	1,360	40	1,300	40
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	1,268	40	1,360	40	1,300	40

(2)物いかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		11,793	12,396	13,819
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
負担金	11,793		12,396	13,819
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	11,793		12,396	13,819

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	13,061	13,756	15,119

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	13,061	13,756	15,119

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	観光案内所利用者	観光案内所利用者	観光案内所利用者
受益者数	55,483	55,320	27,439
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	235	249	551

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	観光案内所開庁日数	単位	日
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	365	365	365
実績値	365	365	365

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	観光案内所利用者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	40,000	40,000	60,000
実績値	55,483	55,320	27,439
達成状況	○(達成)	○(達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>本市の玄関口であるJR岐阜駅において、観光情報を提供し木スピタリティ向上を図ることで、観光客の満足度向上及び観光消費額の増加につながっている。</p> <p>本市の観光情報発信拠点の設置に関しては市が担うべき</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>令和2年度は新型コロナウィルス感染症の影響で利用者数が減ったが、平成30年度・令和元年度の利用者数は目標値を達成しており、効率的な運営をすることができた。</p> <p>観光情報や案内業務のノウハウを持つ(公財)岐阜観光コンベンション協会に委託する方法が最も効率的な方法である。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	大河ドラマ「麒麟がくる」が放映されている期間中は、開所時間を30分早め、多くの方々に観光情報を提供することができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	観光案内業務の性質上、受益者負担は適さない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	案内所利用者に対し、効果的な観光情報を提供することで、観光客の満足度向上及び観光消費額の増加につながると思われ、今後も事業継続の必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 - 025

【1.基本情報】

事業名	やないづ境川ふれあい夏祭り負担金			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体
実施期間	平成14 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	やないづ境川ふれあい夏祭り 実行委員会

【2.事業概要】

事業の目的	市民をはじめ、本市を訪れる多くの県内外の人々にゆとりと潤い、そして安らぎを与えて自然いっぱいの境川緑道公園一帯を会場に、多くの人々がともにふれあい、交流を深め地域の連帯感を醸成し、活力とにぎわいあふれる地域づくりに寄与し、地域振興を図るイベントとして、柳津地域のみならず市南部最大のイベントとして位置付けるとともに岐阜圏域の最後の花火大会を飾るにふさわしいイベントとして開催する。			
事業の内容	境川緑道公園での花火大会の開催。郷土芸能「天保宮下太鼓」「うずら太鼓」「高桑太鼓」の披露等			
事業の対象	何を	やないづ境川ふれあい夏祭りの開催		
	誰に (対象者・対象者数)	やないづ境川ふれあい夏祭り実行委員会		
	どのくらい (具体的 数値で)	年1回		
令和2年度 (実施内容)	事業中止			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	33	1
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	33	1

(2)物いかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	6,000	6,000	0
直接事業費の主な内訳 項目	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	負担金	6,000	6,000
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	計(D)=B+C	6,000	6,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	6,032	6,034	33

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	6,032	6,034	33

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	来場者	来場者	—
受益者数	20,000	20,000	—
受益者負担額(千円)	0	0	
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	302	302	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	やないづ境川ふれあい夏祭りの開催回数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	1	1	—
実績値	1	1	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	20,000	20,000	—
実績値	20,000	20,000	—
達成状況	○(達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	夏季における市南部地域の主要イベントとして定着しており、毎年約20,000人程の観光客が来場するため、社会のニーズに合っている。 主体的な運営は実行委員会が行っているため、市としては人的支援は抑え負担金を拠出すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	約20,000人の来場者があることは、市南部地域において一定の経済効果があるといえる。 市民協働により地域の活性化に寄与する事業であり、市が財政支援を行うことは効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	夏季における市南部地域の主要イベントとして定着しており、市民だけでなく市外・県外から例年一定の観光客を集めている。また、市外へ向けて岐阜市のPRが行われており事業効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	一般の観覧、来場が可能であり、全ての市民が受益対象者となるため公平性・公益性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	夏季における市南部地域の主要イベントであるため、負担金は継続して拠出し、周知啓発においては可能な限り実施すべきである。しかし、受益者ひとり当たりのコストが高く、他のイベントとのバランスを考慮し、金額の見直しが必要。

事業評価シート

番号 0660020 - 026

【1.基本情報】

事業名	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鵜飼伝承館)運営管理			
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	公共施設等の最適な管理・運営		政策コード	7 - 5 - 0 - 0
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	JNFうかいミュージアム
実施期間	平成24 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	
			岐阜市長良川鵜飼伝承館条例	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市を代表する伝統文化である“長良川の鵜飼”を「護り」「伝え」「広める」活動を通して、その魅力を広く紹介・発信するため、施設を供与する。		
事業の内容	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鵜飼伝承館)の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、「長良川鵜飼文化」の発信、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理、指定事業および自主事業の実施。		
事業の対象	何を	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鵜飼伝承館)の施設等	
	誰に (対象者・対象者数)	観光客、市民などの施設利用者	
	どのくらい (具体的 数値で)	61,500人(令和2年度)	
令和2年度 (実施内容)	指定管理者による管理・運営を実施。 「長良川鵜飼文化」を広く紹介・発信する取組みとして指定事業及び自主事業を実施。		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,043	96	3,264	96	3,900	120
パートタイム(嘱託職員)	0	0	0	0	0	0
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,043	96	3,264	96	3,900	120

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		96,153	124,157	111,915
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
委託料	92,909	92,856	110,586	
工事請負費	0	546	0	
備品購入費	0	335	1,031	
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
	19,728	19,728	19,728	
計(D)=B+C	115,881	143,885	131,643	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		118,924	147,149

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	21	21	21
その他	2,225	2,252	2,069
計(F)	2,246	2,273	2,090

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		116,678	144,876

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	130,989	128,643	59,872
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	891	1,126	2,229

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	332	331	331
実績値	332	331	291

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来館者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	57,200	61,500	61,500
実績値	44,337	40,981	16,535
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	岐阜市の重要な観光資源である鵜飼の文化を広く紹介・発信し、護り、その魅力を伝えることができる唯一の施設として不可欠である。
		利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	展示室への来館者数が伸びておらず、費用対効果が低い。
		利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費を削減している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	魅力的な企画事業を実施し、地域振興という意味では効果が得られているものの、展示室への入館には結びついておらず、鵜飼の文化の発信という意味でさらなる工夫が必要。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から		施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	魅力的な企画事業の実施により施設への来場者は確保できているものの、展示室への来館者は増加していない。鵜飼の文化をより魅力的に発信できるよう、指定管理者と連携した維持管理に努める。

事業評価シート

番号 0660020 - 027

【1.基本情報】

事業名	富山市との観光物産交流事業			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体
実施期間	平成20 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	当事業は、平成19年12月26日に富山市と締結した「岐阜市・富山市都市間交流協定」を受けて実施するもので、両市の連携・交流を一層充実させ、圏域を越えた新しい時代の都市間交流を行いながら広域交流の推進、広域連携の推進を図っていく。		
事業の内容	岐阜市、富山市が合同で観光物産展事業、交流人口拡大事業等を実施する。		
事業の対象	何を	岐阜市、富山市合同の観光物産展及び誘客推進事業	
	誰に (対象者・対象者数)	市民、企業等	
	どのくらい (具体的 数値で)	岐阜市・富山市相互の観光物産展をそれぞれ2回ずつ開催。鵜飼や遊覧船など各種料金割引事業の実施。両市の交通動線周辺地域における観光物産展を1回開催。	
令和2年度 (実施内容)	観光物産展の開催、交流人口拡大事業、両市合同事業(スタンプラリー)を実施した。		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,170	100	3,400	100	3,250	100
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	3,170	100	3,400	100	3,250	100

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		1,265	1,144	8,525
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
負担金	1,265	1,144	8,525	
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
計(D)=B+C	1,265	1,144	8,525	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	4,435	4,544	11,775

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	4,435	4,544	11,775

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市・富山市	岐阜市・富山市	岐阜市・富山市
受益者数	21	39	56
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	211,190	116,513	210,268

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	物産展、割引利用の実施件数	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	21	21	21
実績値	24	42	40

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	岐阜市観光HP(岐阜市漫遊)アクセス数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	120,000	120,000	120,000
実績値	62,207	60,019	53,040
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	両市のPRと相互交流の推進を図っていくためには今後も必要な事業であると考えている。 協議会事業として、民間の協力も得ながら各種事業を実施している。観光物産展開催等に伴い、各種手続きが必要であるため、事務に関しては市が取りまとめて行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	交流人口拡大事業として、富山市民を対象に岐阜市の鵜飼乗船料割引助成事業を実施しているが、利用者があまり多くなかったため、令和元年度より観光施設利用料割引助成、また、令和3年度より宿泊料割引助成を開始したところである。観光展は、比較的多くの方がブースを訪れてくれている。 両市の協議会で実施しており、観光関連事業者の協力も得ながら進めている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	両市で、イベント等に合わせて観光物産展を開催しており好評を得ている。交流人口拡大事業についても年々利用者が増加しており、今後は効果的なPRが必要。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	富山市民を対象に岐阜市の鵜飼乗船料割引助成事業、観光施設割引助成事業及び宿泊料割引助成事業を実施、また、岐阜市民を対象に富山市の乗り物利用料割引、宿泊施設割引事業及び飲食代金割引助成事業を実施しており、両市の交流人口拡大を促進している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	毎年、負担金の市への戻入が多く発生していたことから、次年度から負担金を30万円減額し130万円とした。一方、利用者が少なかつた交流事業については、メニューを増やした事もあり実績値は上がっており、今後はより効果的な周知活動が必要であると考える。

事業評価シート

番号 0660020 - 028

【1.基本情報】

事業名	レンタサイクル事業			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	岐阜市 (一財)岐阜市にぎわいまち公社
実施期間	平成17 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	岐阜市レンタサイクル条例、施行規則

【2.事業概要】

事業の目的	中心市街地の近距離公共交通機関の一つとしてレンタサイクルを位置づけ、多くの観光客及び市民の利用に供する。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人が集まる公共施設にレンタサイクルポートを整備し、レンタサイクルを貸出す。 サイクリングコースを紹介した折り畳み式のマップを作成し、観光案内所などで配布する。 		
事業の対象	何を	レンタサイクル（レンタサイクルポート）	
	誰に (対象者・対象者数)	観光客及び市民	
	どのくらい (具体的 数値で)	<ul style="list-style-type: none"> JR岐阜駅など5つのポートで、合計130台の自転車を貸出す。 15のホテル等で43台の自転車を無償で貸し出す。 	
令和2年度 (実施内容)	<p>令和2年度利用件数 6,635件</p> <ul style="list-style-type: none"> ホテル会などでは、合計1,620件の利用があった。 		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	317	10	340	10	325	10
パートタイム(嘱託職員)	0	0	0	0	0	0
パートタイム(アルバイト)	0	0	0	0	0	0
計(A)	317	10	340	10	325	10

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		22,374	28,651	22,558
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
委託料	22,374	24,216	22,558	
新規自転車導入	0	1,862	0	
ポート整備	0	2,573	0	
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
	167	167	167	
計(D)=B+C	22,541	28,818	22,725	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		22,858	29,158

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	2,138	3,279	2,522
その他	774	764	630
計(F)	2,912	4,043	3,152

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		19,946	25,115

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	レンタサイクルの利用者	レンタサイクルの利用者	レンタサイクルの利用者
受益者数	18,253	15,189	6,635
受益者負担額(千円)	2,138	3,279	2,522
受益者負担率(%)	9.4%	11.2%	10.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,093	1,653	2,999

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	レンタサイクル利用実績	単位	件数
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	21,000	18,000	9,000
実績値	20,892	17,499	8,255

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	JR岐阜駅から入る観光客の増加(観光案内所利用者数)	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	60,000	60,000	60,000
実績値	55,483	55,320	27,439
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	本市の観光資源が駐車場の少ない市中心部に集積する中、自転車などの2次交通の整備は重要である。 民間事業者による事例はあるが、ホテルによる宿泊者限定利用や、店舗でのスポーツバイク貸出などその利用は付隨的なサービスにとどまる。多くの観光客に利用してもらうための広域的な整備は市が行なうべき。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	コロナ禍で臨時休業があり、利用者が大幅に減少したが、委託料に対する収益率は約11%程度ある。 業務委託先に民間を活用することや、ポートの無人化・機械化など、今後収益性の向上に向けた施策を検討していく必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	今後も、コロナ禍での貴重な移動手段として利用価値が存在する。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	低	年数件発生する利用料金未納者について公平性に課題が残る。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	利用件数や収益の動向を注視しながら、適正な管理台数規模や、レンタサイクルポートの無人化・自動化の可能性について検討する。

事業評価シート

番号 0660020 - 029

【1.基本情報】

事業名	長良川流域観光推進協議会			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体
実施期間	平成28 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	長良川上・中流域に存在する魅力的な地域資源を観光資源として活用し、当該流域を周遊・滞在する観光地づくりを観光事業者・地域連携DMOと連携して推進することを目的とする。				
事業の内容	当該流域における周遊・滞在型観光造成事業、情報発信事業				
事業の対象	何を	当該流域における周遊・滞在型観光			
	誰に (対象者・対象者数)	市民、企業等			
	どのくらい (具体的 の数値で)	通年利用ができる体験プログラムの他、交通機関と連動した観光企画を各時期において展開。			
令和2年度 (実施内容)	情報発信事業、新型コロナウイルス感染拡大対策事業、周遊滞在型商品造成事業、観光動向把握事業				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,585	50	1,700	50	1,625	50
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	1,585	50	1,700	50	1,625	50

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		1,000	1,000	1,000
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
負担金	1,000		1,000	1,000
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	1,000		1,000	1,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,585	2,700	2,625

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	50	50	50
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	50	50	50

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,535	2,650	2,575

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市・関市・美濃市・郡上市	岐阜市・関市・美濃市・郡上市	岐阜市・関市・美濃市・郡上市
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	着地型商品数	単位	種類
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	30	30	90
実績値	82	86	97

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	長良川温泉宿泊者数	単位	千人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	300	300	330
実績値	309	304	143
達成状況	○(達成)	○(達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>4市のスケールメリットを生かした誘客を図っていくためには、今後も必要な事業である。</p> <p>協議会の事務局は県が担い、NPO法人ORGANや民間の協力も得ながら各種事業を実施している。岐阜市への誘客推進を図るため、市も事業を担う必要がある。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	<p>本市の新たな体験型観光商品の開発や、1市単独ではできない事業を国からの補助金を得て4市で実施しているため、費用対効果は高い。</p> <p>4市の協議会で実施しており、観光関連事業者の協力も得られていることから、効率的に事業を進めている。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	多様な観光商品の造成が実施されており、効果的な誘客を図るためにには、テーマ性を持った広域連携は必要不可欠である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	ガイドマップ、WEBサイト等、広く市民に情報を発信しており、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	新型コロナウイルス感染症の影響により、成果指標としている長良川温泉宿泊者数の目標は未達となったものの、世界農業遺産など長良川流域のテーマ性を持った広域連携による誘客施策は効果的であると考えており、令和3年度以降も国からの交付金を受けて事業を継続していく。

事業評価シート

番号 0660020 - 031

【1.基本情報】

事業名	観覧船の民間活用推進事業			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他補助金	実施主体 (公財)岐阜観光コンベンション協会
実施期間	令和1 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	オフシーズンの観覧船の活用を民間事業者に促し、利用者増による観覧船事業の収支改善を目指す。		
事業の内容	観覧船を活用してイベント等の事業を実施した事業者に対して企画の立案、事業の宣伝等に対する助成を行なう。		
事業の対象	何を	イベント等の企画立案、宣伝等の経費	
	誰に (対象者・対象者数)	民間事業者	
	どのくらい (具体的 の数値で)	集客奨励金@500円/一人、宣伝費補助200,000円	
令和2年度 (実施内容)	事業中止		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		34	1	33	1
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	0	0	34	1	33	1

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
			1,378	0
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
負担金			1,378	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	0		1,378	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	1,412	33

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	1,412	33

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者		観覧船を活用する民間事業者	観覧船を活用する民間事業者
受益者数		5	中止
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)		0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)		282,400	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助申請数	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値		5	—
実績値		5	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	観覧船乗船者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値		960	—
実績値		25	—
達成状況		×(未達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	観覧船のオフシーズンの活用は長年の課題であり、解決の可能性を探ることができる施策である。
		観覧船事業は市の事業であり、その活用は市が担う。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	乗船者の2次的な観光消費を考慮すると大きな経済波及効果が期待される。
		(公財)岐阜観光コンベンション協会が持つネットワークを活用し、事業応募者を募る方法が効率的で適している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	低	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で催行予定のツアーが中止になる案件が多発し、実績があげられなかった。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	申請案件はツアー商品として受益者負担を微しており、公平性は維持されている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	今年度は新型コロナの影響で催行予定のツアーが中止になる案件が多発し、実績があげられなかった。令和元年度から始まった事業でもあり、しばらく継続し、事業効果を図る。

事業評価シート

番号 0660020 - 032

【1.基本情報】

事業名	フォトツーリズム推進事業			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市
実施期間	令和2 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	本事業は新しい観光の在り方の一つである「写真撮影」を切り口とした「フォトツーリズム」の魅力を発掘・発信し、本市への誘客を図る。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンサーを招請し、写真スポットの発掘および情報発信を実施 招請事業での成果を活用した写真スポットをまとめたWEBサイトの作成 			
事業の対象	何を	<ul style="list-style-type: none"> 写真家の招聘及び情報発信 WEBサイトの作成 		
	誰に (対象者・対象者数)	20～30代の観光客		
	どのくらい (具体的 数値で)	<ul style="list-style-type: none"> 写真家の招聘及び情報発信 5回 WEBサイトの作成 1回 		
令和2年度 (実施内容)	SNS等で影響力のある写真家を招聘し撮影3回、SNSによる情報発信3回及びライブ配信を2回実施した。また、撮影の実績を活かしたウェブサイト「カメラと旅する岐阜市」を作成し、情報発信を行った。			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人におけるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		3,575	110
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	3,575	110

(2)物におけるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
			6,010
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
委託料			5,973
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	0	0	6,010

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	9,585

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			2,986
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	2,986

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	6,599

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者			市民・観光客
受益者数			1,059,747
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)			0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			6

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	情報発信数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			5
実績値			5

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	ぎふ・観光フォトコンテスト 応募作品数	単位	点
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			400
実績値			237
達成状況			×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	月と岐阜城を重ねて撮影する「月と岐阜城」の写真が、SNSや各種メディアから注目を集め等「フォトツーリズム」に対するニーズが増加しているため、魅力発信を行い誘客に繋げる必要がある。 本市の新たな観光資源の発掘及び情報発信を通して本市への観光客誘致を目的としており、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	フォトコンテストの実績は令和元年度の191点に比べ増加した。また、5回の情報発信及びWEBサイトの作成により、100万回以上の情報表示があり費用対効果は高い。 観光関連事業者等と情報共有や意見交換を行いながら進めている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	写真撮影を通じた情報発信を行うことで、本市でしか体験できないコンテンツをビジュアル的に訴えることができるため、本市に対する誘客効果は高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	全ての方が受益対象者であり公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	本事業は効率性、有効性、公平性が高いため、現状維持で継続していく必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 - 033

【1.基本情報】

事業名	GIFUナイトビュー事業 (ぎふ・灯り物語)			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体
実施期間	令和2 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	本市の貴重な観光資源である金華山・長良川を活用した事業を実施することにより、全国から幅広く観光客の誘致を図り、地域の活性化に寄与すること				
事業の内容	ぎふ・灯り物語				
事業の対象	何を	ぎふ・灯り物語			
	誰に (対象者・対象者数)	市民・観光客			
	どのくらい (具体的 数値で)	1回			
令和2年度 (実施内容)	ぎふ・灯り物語1回開催(令和3年1月30日～2月7日)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人におけるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		2,275	70
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	2,275	70

(2)物におけるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
			20,000
直接事業費の主な内訳 項目	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
負担金 減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	0	0	20,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	22,275

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			20,000
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	20,000

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	2,275

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者			市民、観光客
受益者数			6,504
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)			0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			350

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	イベント開催数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			1
実績値			1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	イベント参加者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			6,000
実績値			6,504
達成状況			○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	鵜飼のオフシーズンにおける、魅力的なナイトタイムエコノミーの創出を図ることを目的として、和傘、提灯、竹、和紙等の岐阜市の文化を活用した「岐阜市ならでは」の灯りイベントを実施することで、岐阜市への誘客促進に繋げる。 市の新たな観光資源の創出や観光客誘致を目的としており、観光関係団体と共に、市も事業費を負担すべき。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	観光業界の閑散期である冬場の時期に9日間で6,504人の集客があり、効率的である。 実行委員会形式で実施しており、観光関連事業者や地元自治会の協力を得ながら進めている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	高	鵜飼のオフシーズンにおける、岐阜和傘・岐阜提灯といった本市の伝統工芸品を活用したライトアップイベントのため、本市でしか実施できない強みがあり、本市への誘客促進に有効である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	令和2年度は無料で開催したが、今後は参加料を徴収する等、受益者負担を検討していく。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	鵜飼閉幕期間中の本市ならではのイベントとして継続していくべきと考えるが、受益者負担等イベントの実施方法を検討していく必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 - 034

【1.基本情報】

事業名	GIFUナイトビュー事業（手力の火祭・夏）				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	GIFUナイトビュー事業実行委員会
実施期間	平成16 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	本市の貴重な観光資源である金華山・長良川を活用した事業を実施することにより、全国から幅広く観光客の誘致を図り、地域の活性化に寄与すること				
事業の内容	手力の火祭・夏(長良川公園)				
事業の対象	何を	手力の火祭・夏			
	誰に (対象者・対象者数)	市民・観光客			
	どのくらい (具体的 数値で)	1日			
令和2年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染症の影響により中止				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,378	75	2,550	75	163	5
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	2,378	75	2,550	75	163	5

(2)物いかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		13,100	13,100	0
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
負担金	13,100		13,100	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	13,100		13,100	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	15,478	15,650	163

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	15,478	15,650	163

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民、観光客	市民、観光客	市民、観光客
受益者数	7,000	25,000	0
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,211	626	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	イベント開催数	単位	日
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	1	1	—
実績値	1	1	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	イベント参加者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	23,000	23,000	—
実績値	7,000	25,000	—
達成状況	×(未達成)	○(達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	<p>手力の火祭・夏は、平成元年から開始し、平成30年で30周年を迎える、夏の風物詩として知名度も高まっている。</p> <p>市の新たな観光資源の創出や観光客誘致を目的としており、観光関係団体と共に、市も事業費を負担すべき。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止になったが、令和元年度は1日のみのイベントで、25,000人の集客がある現状である。</p> <p>実行委員会形式で実施しており、観光関連事業者や地元自治会の協力を得ながら進めている。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込みか) ※【2】【7】から	中	<ul style="list-style-type: none"> 手力の火祭・夏は、4月に手力雄神社で行われている本祭は神事であり、観光目的ではないため、夏に再演することで火祭そのもののPRと岐阜市への誘客を図れるイベントである。 手力の火祭・夏は鵜飼や他の花火大会と重なるシーズンに実施しているため、他コンテンツと重ならない時期に実施することにより年間の観光客を増加させること等の検討の余地がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	手力の火祭・夏は本祭が無料であるのにならって観覧無料としている。屋外オープンスペースで実施するため、観覧料の徴収は実質不可能である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	岐阜市ならではのイベントとして継続していくべきと考えるが、鵜飼や他観光コンテンツとの状況を加味し、実施方法等の変更を検討していく必要がある。

事業評価シート

番号 0660020 - 035

【1.基本情報】

事業名	岐阜観光コンベンション協会運営負担金(コンベンション推進)			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体
実施期間	平成17 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市及び周辺の産業、技術及び文化、歴史などの資源を活用し、コンベンションの誘致、開催支援、及び国際会議観光都市岐阜の広報、宣伝等の事業を行うことにより、岐阜市におけるコンベンション並びに観光の振興を図り、もって国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に資すること			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション振興のための広報、宣伝、誘致及び受入 ・コンベンションの開催に係る支援 ・観光及びコンベンションに係る環境基盤 			
事業の対象	何を	本市のコンベンション関連情報		
	誰に (対象者・対象者数)	コンベンション主催者となり得るすべての人々		
	どのくらい (具体的 の数値で)	定期的なコンベンション主催者に対する誘致活動、国内観光客誘致、海外旅行客誘致など		
令和2年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション振興事業(国内外コンベンション主催者への誘致活動、コンベンション支援事業など) ・環境基盤整備事業(ホスピタリティ講座・観光セミナー・MICEセミナーの開催など) 			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人いかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	33	1
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	33	1

(2)物にかかるコスト

項目	直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		20,276	20,393	20,802
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
負担金	20,276	20,393	20,802	
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
計(D)=B+C	20,276	20,393	20,802	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	20,308	20,427	20,835

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	20,308	20,427	20,835

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数
受益者数	7,690,260	7,766,108	4,283,659
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3	3	5

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	公益目的事業 コンベンション開催助成	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	10,000	10,000	10,000
実績値	10,705	7,033	520

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市内コンベンション開催件数	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	300	300	300
実績値	278	275	82
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	本市においてコンベンション推進は重要な施策であり、市や民間事業者が協働して進めるべき観光施策の実働部隊として協会が機能している。 協会の財源として賛助会費、商工会議所負担金などだけでは運営困難であり、協会設置の目的からも市も担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	効率的な事業展開により、200件以上のコンベンション誘致につながっている。 市負担金だけでなく、商工会議所負担金、賛助会員会費等により運営されている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	協会の事業運営により、多くのコンベンション開催実績につながっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	地域やターゲット、時期など幅広く情報発信することが本市へのコンベンション誘致につながっており、情報を享受した個々からの受益者負担はなじまない。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	岐阜市の観光・コンベンション振興を担う唯一の組織であり、今後も引き続き負担金による支援を継続すべき。

事業評価シート

番号 0660020 - 036

【1.基本情報】

事業名	ロケツーリズム推進事業			
担当部名	ぎふ・魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課	
未来地図政策	観光・交流の活性化		政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市
実施期間	令和2 年度～ 年度		根拠法令 関連計画※	

【2.事業概要】

事業の目的	映画・テレビドラマ・CM・情報番組などのロケを岐阜市に誘致し、その作品(番組)の中で岐阜市を取り上げてもらうことにより観光PRを図る。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ロケツーリズム協議会に参加することにより、制作会社へのロケの誘致を実施 制作会社とロケ地との調整、撮影に係る許可申請の手続き支援、ロケ及びロケハンの同行など、ロケの支援を実施 			
事業の対象	何を	ロケ支援		
	誰に (対象者・対象者数)	映像制作会社		
	どのくらい (具体的 数値で)	令和2年度は3件(依頼に応じて対応)		
令和2年度 (実施内容)	制作会社とのマッチング大会 1回(全国ロケツーリズム協議会にて) ロケ実績 3件(TV番組:2件 映画:1件)			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人におけるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		7,150	220
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	7,150	220

(2)物におけるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
			612
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目 負担金			288
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	0	0	612

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	7,762

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	7,762

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者			岐阜市の主要観光地点入込客数
受益者数			4,283,659
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)			0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			2

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	ロケツーリズム協議会でのロケ誘致営業回数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			2
実績値			1

アウトカム評価 (アウトプットよりもたらされた成果)			
成果指標名	市内でのロケ回数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			30
実績値			3
達成状況			×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	<p>本事業は観光客を誘致するための手段であり、岐阜市の魅力の発掘・発信のために必要な事業である。</p> <p>本市の新たな観光資源の発掘及び情報発信を通して本市への観光客誘致を図ることを目的としており、市が担う必要がある。</p>
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	<p>ロケを誘致できれば、市として宣伝広告をすることなく岐阜市のPRが行えることから費用対効果は高い。</p> <p>ロケ誘致及びロケ支援を行う組織は、市の他にない。</p>
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み) ※【2】【7】から	中	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ロケの実施が低調だったことから、期待された効果は得られなかつた。しかし、withコロナのロケの実施方法が確立されることにより、全国的にも徐々にロケが増えており、今後は、本事業により、ロケの誘致することにより、確実に観光PRにつながる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	全ての方が受益対象者であり公平である。 また、情報発信を受けての本市へ旅行は受益者負担となるため適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ロケが実施されなかったことから、有効性が低調だったが、必要性、効率性、公平性が高いため、現状維持で継続していく必要がある。